

令和3年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 熊西 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、数学)

教科に関する調査(国語、数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査(国語, 数学)の結果

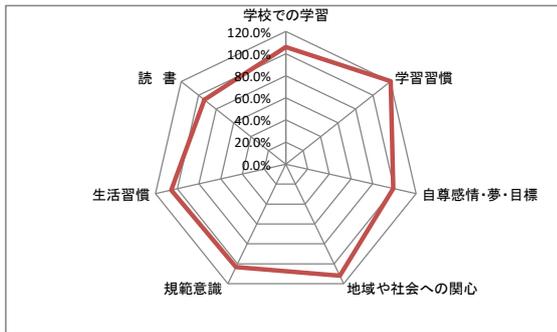
本年度の結果	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	8.8	55
全国	9.0	65	9.1	57

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全体的に全国平均正答率を上回っている。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ。	上回っている
	努力が必要な問題	文脈の中における語句の意味を理解する。	

数学	全体的な傾向や特徴など	全体的に全国平均正答率を上回っている。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。	上回っている
	努力が必要な問題	与えられたデータから中央値を求めることができる。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣については、自分自身で計画を立てて勉強する生徒が多く、十分身につけていると考察される。 ・スマホ・携帯電話の所持率が増加したが、「携帯・スマホ電源10時OFF」の取組により、時間やルールを守って使用できている生徒の割合は高い。 ・将来の夢や希望をもっている生徒は全国平均よりも多い。自尊感情については、ほぼ全国平均並みの状態にある。 ・読書については、毎日の朝自習で取り組んだり、校内の読書週間での特設の取組もあり、十分な成果をあげている。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> ・朝自習は5教科で行っている。国語、数学においては、学力定着サポートシステム(市教委より配信)を状況に応じて実施し、基礎学力の定着を図っている。 ・希望生徒を対象として、「ひまわり学習塾」を週に2回実施し、基礎学力の定着を図っていく。 ・学校図書館の整備、朝読書の推進、各教科による図書館の活用等を積極的に行い、読書活動を推進することで、言語感覚を豊かにするとともに、読みとる力・言葉の力を育てていく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> ・各教科において、宿題や課題の提出を徹底するなど、教科担任と学級担任が連携し、基礎学力の向上と家庭学習の定着を図る。 ・考査前に家庭学習計画を作成し、毎日学級担任が確認・指導を行う。 ・学校便りや学校HPを通して、調査の結果・分析をお伝えするとともに、懇談会等において現状や傾向を説明し、家庭との協力体制を構築していく。
--